

Well-being実現を目指して“こころの健康”

健康経営優良法人認定

コンダクト㈱(福岡県北九州市)は、「健康経営[※]」の取り組みが優良であると日本健康会議に認められ、3月10日に健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)の認定を受けた。

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することであり、企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されているもの。日本再興戦略、未来投資戦略に位置づけられた「国民の健康寿命の延伸」に関する取り組みのひとつである。労働力不足や事業継続などの問題解決の糸口として注目されており、その認識は着実に高まり続けている。

経済産業省では、健康経営に係る各種顕彰制度として、平成28年度には「健康経営優良法人認定制度」を創設。優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として社会的に評価を受けることができる環境を整備している。

日本健康会議は、少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体で、経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、職場、地域で具体的な対応策を実現していくことを目的として、健康経営優良法人認定制度を制定。この認定顕彰制度では、大規模の企業等を対象とした「大規模法人部門」と中小規模の企業等を対象とした「中小規模法人部門」のふたつの部門が設けられている。「健康経営優良法人」に認定されると「健康経営優良法人」ロゴマークの使用が可能となる他、自治体や金融機関においてさまざまなインセンティブが受けられる。

コンダクトでは、社員のエンゲージメント向上(個人と組織との一体感)の取り組みからWell-being実現(社会的な幸福感)を目指しており、社員交流会や他企業・大学関係者による異業種交流会を社内開催し、社員の自己啓発機会を企画・提供している。また、入社歴や職種に関係なく、社員が意見を自由に発言するよう、会議打ち合わせでの「心理的安全性」の確保を重視している。休暇制度として完全週休2日制を導入し、仕事とプライベートの充実、健康的な生活習慣づくりを指導してきた。社員の平均年齢も上がり、生活習慣病の予備軍が増えるなか、1年前から会社全体の取り組み「健康経営」を導入している。本社内にはアートギャラリーを開設しており、社員が芸術作品から感性を育む場として、また社外との交流の場としても活用している。

和田克之代表取締役社長によると“常にアンテナを高くし、変化への感度を研ぎ澄ます”という自身のビジネス哲学を社員へ啓蒙する機会として、健康経営にも取り組んだとのことだが、今回の認定について「目的は、少子高齢化による労働人口減少の中、経営視点で従業員の健康管理を戦略的に実践することです。従業員の健康を配慮し、その対策を立てることで、従業員のエンゲージメントを向上させ、中長期的に変化に強い人材、組織づくりを行い、企業価値の向上を目指します。組織作りの要である“こころの健康”。健康経営はトップが先頭となって実践することが大事だと考えます」と語っている。

※：健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

